

日本サイクルツーリズム推進協会

Annual Report 2018-2019



1. 2018-2019 年度の活動状況
2. サイクリングガイド養成講座
3. サイクルインストラクター養成講座
4. 子どものための自転車教室
5. セミナー及び勉強会
6. その他

～バトンは国から地方へ～

自転車活用推進法の施行から2年余りが経過しました。全国の自治体では今、自転車活用推進計画の策定が進められています。自転車の活用を通じた環境への負荷の低減、健康の増進、さらには快適なサイクリングを目指す自転車専用道「ナショナルサイクルルート」の制定と、自転車を取り巻く環境はまさに大きく変わろうとしています。

～サイクリングガイド育成～

日本サイクルツーリズム推進協会も時を同じくして取組みを進め、全国各地で開催したガイド養成講座は21回を数えました。各地方のJCTA認定ガイドの皆様の活動の広がりとともに、各地でサイクリングツアーが開催され、一般的にも知られるようになって来ました。当協会が提供するサイクリングツアー紹介サイト、Cycling in Japanを通じたツアーも海外からの引き合いも徐々に増えて来ています。2020年はJCTAが提供するインバウンド対応などのスキルアップ講習を通じて、国内外からより多くのサイクリストを誘致し、認定ガイドの皆様に更なる活躍の場を広げて行っていただきたいと考えています。

～子供の自転車教育とインストラクター育成～

サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現に加え、国が重点目標としているのが、自転車事故のない安全で安心な社会の実現です。2019年初頭より、当協会はサイクルインストラクターの養成に着手し、3月からはJCTA認定インストラクターによる子供のための「Bikeability」自転車教室を手がけて参りました。小さなお子様たちが遊びを通じてサイクリングの楽しさに目覚め、単に交通法規を遵守するだけではなく、路上に潜む危険を認識し安全な行動を身につけていくことが、安心な社会の実現には不可欠だと日本サイクルツーリズム推進協会は考えています。より多くの方により多くの頻度でサイクリングを楽しんでいただき、健康で安全な暮らしと社会を実現すること。その一端を日本サイクルツーリズム推進協会が少しでも担っていくことができれば望外の喜びです。

1. 2018-2019 JCTA活動状況

	サイクリングガイド養成講座	インストラクター養成講座/ 子どもの自転車教室	広報/勉強会
11月	11/21,22 第13回 @山口美祢		
12月			12/12 サイクルツーリズムセミナー 「海外のサイクリストの傾向と日本のサイクリング観光・ガイドへの期待」 @南北海道
			12/19 第1回 JCTA公開勉強会 「電動アシスト付き自転車を使ったツアー事例」
1月		1/30,31 第1回 英国人講師による インストラクター養成講座 @茨城県小貝川ポニー牧場	
2月		2/2,3 第2回 英国人講師による インストラクター養成講座 @大阪/関西サイクルスポーツセンター	2/14 第2回 JCTA公開勉強会@四ツ谷 「海外のサイクリングツアー事例から 日本型サイクリングツアーの形を 考える」
		2/7,8 第3回 英国人講師による インストラクター養成講座 @大阪/関西サイクルスポーツセンター	
3月	3/2,3 第14回 @山口萩	3/30 子どものための自転車教室 @りんりんポート土浦（茨城県）	
	3/19,20 第15回 @四ツ谷		
4月	4/20,21 第16回 JCTA主催@東京		
5月	5/25,26 第17回 JCTA主催@東京		
6月	6/15,16 第18回 @函館/江差町	6/1,2 第4回 インストラクター養成講座 @小貝川ポニー牧場（茨城県）	
	6/19,20 第19回 @北海道名寄市	6/23 第1回 子どものBikeability自転車教室 @東京都千代田区パレスサイド	
8月			8/22 自治体向け 「サイクリングガイド養成講座説明 会」@東京
10月	10/19,20 第20回 @五所川原	10/6 第2回 子どものBikeability自転車教室 @東京都千代田区パレスサイド	
	10/26,27 第21回 JCTA主催@東京		

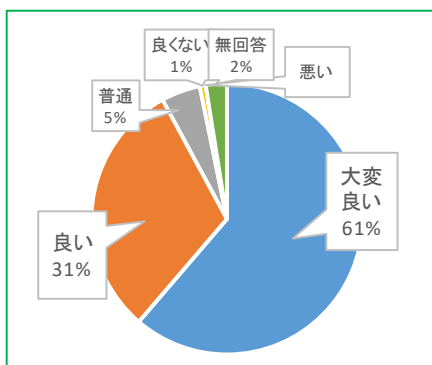
2. サイクリングガイド養成講座



10/19,20 青森県五所川原での養成講座

今年度は昨年11月の山口美祢市を皮切りに、自治体からのご要望を受け年五回のサイクリングガイド養成講座を開催しました。最終回はこちら青森県五所川原です。この回は初の試みとして受講生の皆さんにルート造成からやって頂き、結果として2つのサイクリングコースが誕生しました！その名も、①「日本最後のリンゴの木、駆け抜けようリンゴの中を！」②「奥津軽のへそ、五所川原市内を巡るまちぶらツアー」です。

アンケート集計結果【全体】



	良い	普通	良くない	悪い	無回答	
講習会全体の感想	23	8	0	0	0	31
1日目午前・座学	18	11	1	0	1	31
1日目午後・下見	23	6	1	0	1	31
2日目・ルート造成	15	10	3	0	3	31
2日目・ガイド実習	26	5	0	0	0	31
全体的なスケジュール	12	14	3	1	1	31
講師の説明について	26	5	0	0	0	31
講義の進め方、ワークシート	16	13	2	0	0	31
	171	86	13	2	7	

これまで自治体からの要請を受けて開催していたサイクリングガイド養成講座ですが、個人からのご要望があり今年度から**東京の事務所を基盤にJCTA主催の養成講座を開催**することに致しました。オリンピックに向け首都圏のガイドの需要が見込まれます。

今年度はJCTA主催で4回、自治体主催で5回開催され、10月31日時点で100名の認定ガイドが登録され活躍されています。



東京渋谷にて

《 JCTAを経由して認定ガイドさんが活躍されました 》

DIC北海道ツアーに参加して

認定番号 19-01-0119 相樂秀明氏

9/27～9/29 中国DIC 様の北海道サイクリングツアーのガイドに参加しました。

参加者は中国人の皆さん。日本語は通じない。私は中国語も英語も話せません。ですが、香港の方をアテンドした経験や台湾1人旅もしていたので、今回、ガイドとして参加いたしました。通訳の方以外は日本語が通じないので、どうすれば外国の方に伝えられるかを心がけてコミュニケーションをとりました。

3日間、走行前のバイクチェックも初日は言葉の問題もあり、時間もかかりましたが、3日目にはコミュニケーションもとれるようになってきていたのでスムーズに出来るようになりました。初日、2日目はテールガイド、3日目はフロントとして務めさせて頂きました。テールガイドの際は後方の安全確認と声掛けで危険回避をすることが必須です。今回は外国人ということもあり、声掛けは一言「Keep」。しかしながら、伝わらなかったのか追い抜きをかける際に膨らんで走行するのが目立ちました。通訳の方を通じての注意喚起と、声掛けの際になるべくその場所に近づいて声を掛けるようにして、少々うるさいとは思いましたが無事故で安全にお客様をアテンドすることは必須です。フロントの際は、停止の際に「Stop!!」と大声でまっすぐ上に手を挙げて少々大きめに伝えました。この時はお客様も一緒に「Stop!!」と続けてくれました。また頻繁に後方を確認しながら走行を心がけました。

3日間のツアーを終え、お客様との夕食の際に、声掛けの重要さと安全にツアーを終えたことに感謝して下さいました。西田代表をはじめ、認定ガイドの小川さん、千葉さんとの連携も密に行い、無事遂行できたことが大きかったと感じます。言葉でのコミュニケーションが取りづらい環境でも、ガイド講習の基本事項を忠実にかつシンプルに伝えることが外国人の方に理解されたと実感しております。

JCTAとしましては、今後も認定ガイド様への活躍の場が増えるよう努力したいと考えています。

3. サイクルインストラクター養成講座



①JCTAはCyclingUKと提携し、イギリス運輸省とCyclingUKが140年かけて培ってきたノウハウと教育カリキュラムを採用しています。そのため、1月末から2月にかけてイギリスから講師を招き、本場の養成講座を直接受けられる機会を設けました。自転車教育を楽しく、また正しく受けることの重要性を体感して戴けたのではないかと思います。

「英国人講師によるインストラクター養成講座」アンケート結果抜粋

- 日本の教育でも取り入れるべきだと思います。学校や家庭以外にも子供たちの世界を広げる場が日本には もっと必要だと思います。
- UKでは10歳以下までは学校で教えてもらうことがほとんどで費用も国が持つという部分で日本とは取り組み方が全く違うと感じた。
- 日本の子供の自転車の習得は「習うより慣れよ」が主で、家庭頼みか我流が多いように思うので、体系的なメソッドが広がって行けば良いと思う。
- 集団でライドするとき、人の並びや交通量が多い時、複雑な時の対応の仕方をもっと掘り下げて学びたいと思いました。
- 弱者への対応、そして自身を守るためにも大切なセンシティブなことをしっかり学びました。また同じ受講者の意見も大変参考になりました。



②代表理事西田によるサイクルインストラクター養成講座6/1-2

今回は日本人講師による養成講座であったため、ダイレクトなコミュニケーションのもと、テンポよく講習が進められ、これまでも増して内容の濃い2日間となりました。

1日目のBikeability Plusの実習では、受講生自らが自転車のペダルを外し、実際に自転車に乗れない子どもたちがどのようにランバイクに乗るのかを体験しながら、ランバイクによるゲームを構築しました。また、2日の実習では、きちんとした講習会プランを立てた上で、それぞれが講師となり、ロールプレイで講習会を担当しました。2日目の午後は、インストラクターデビューに備え、2人ずつ2つのチームに別れ、講習会のプランニングを真剣にそして念入りに行いました。



【講義内容】

1. 基本理念
2. リスク管理
3. バイクフィッティング
4. Bikeabilityレベル1及び2理論と実習
5. ティーチングスキル
6. チャイルドプロテクション

4. 子どものための自転車教室



6/23 第1回 子どものBikeability自転車教室 @東京都千代田区パレスサイド

養成講座を経て認定登録されたサイクルインストラクターはJCTAが委託された「子どもの自転車教室」などの教室において活躍されています。



<自転車教室での主な学習内容>

レベル1

ゲームや遊びを通じて、
基本的な乗り方を学びます

- ・自転車に乗るための準備(服装や装備)
- ・補助なしで、自転車の乗り降りをする
- ・ふらつかずにスタート、ペダリング、ストップができるようになる
- ・ギアを使う、障害物をよける
- ・後方を含め、ふらつかずに周りを確認する
- ・道路上の他の歩行者、自転車、車と同じ道路を共有しているという考えを身に付ける



身長に合わせた自転車たち



綿密な打ち合わせは必須



教室で活躍する
小道具たち



スタート!



まずはヘルメットの被り方から



上手になりました!!



- 3/30 子どものための自転車教室 @りんりんポート土浦
- 6/23 第1回子どものBikeability自転車教室 @東京都千代田区パレスサイド
- 10/6 第2回子どものBikeability自転車教室 @東京都千代田区パレスサイド

今年は台風のための順延、キャンセルが相次ぎましたが、雨も厭わず元気に走り回る子供たちに力を貰いました。

5. セミナー及び勉強会

2019/12/12

サイクルツーリズムセミナー
「海外のサイクリストの傾向と日本のサイクリング観光・ガイドへの期待」@北海道

2019年12月12日(水) 16:00 → 17:30 **参加無料**

定員 50名 (先着・申込順)
会場 木古内町中央公民館
講師 西田 恵子 氏
対象 観光・スポーツ関係者、観光関係者、自治体関係者、学生、一般

歴史文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会メンバーの方々、協力団体の方々、どうなん・追分シーニックバイウェイルートの方々など、約45名の方々が参加しました。中にはこれまでサイクリングや自転車にあまり関わりの多くなかった方もおられましたが、講義を通じて自転車という交通機関が自分たちの住むエリアにとっていかに重要なツールであったかということを確認したという声が聞かれました。

2018/12/19

第1回 JCTA公開勉強会
電動アシスト付き自転車を使ったツアー事例とJCTAの組織とツアーガイド講習について

当日はヤマハ発動機(株)の鹿島様を迎え、国内外のサイクリング事情やアシスト自転車の現状及び展望などについてお話しいただき大変参考になりました。

1. 電動アシスト付き自転車について
ヤマハ発動機株式会社 鹿嶋泰広様
2. 電動アシストスポーツバイクを使った
サイクルツーリズム取組み事例
JCTA理事 宮内忍
3. JCTAの組織とガイド講習について
JCTA代表理事 西田恵子



2019/8/22

自治体向け
「サイクリングガイド養成講座説明会」@東京

8/22 東京都内にて自治体向けのサイクリングガイド養成講座説明会を実施しました。

1. サイクルツーリズム振興のポイント
サイクリング評論家 平本雅典氏 (JCTA アドバイザリーコミッティ)
2. サイクリングガイド養成講座について
JCTA代表理事 西田恵子
3. 導入事例紹介
「サイクリングガイドが創るサイクル県やまち」
講師：森重 信博 氏
山口県観光スポーツ文化部文化振興課 (文化ツーリズム担当)

説明会の後、懇親会が行われました。山口県は”誰もが県内各地で、四季を通じて、サイクルスポーツを快適に楽しむ事ができる県”を目指して数々の施策が行われており、その事例紹介は各自治体の方々の大変良い指針になったことと思われる。

導入事例多数! 世界中からサイクリストを誘致しませんか!!

インバウンド対応の地域密着型サイクリングガイド

サイクリングガイド養成講座説明会

北海道/青森/茨城/東京/京都/滋賀/山口などで、20以上の開催実績

開催日 8月22日(木) 15:00~ 開催場所 東京都内

この機会にぜひ、ガイド養成をご検討ください

サイクリングガイド養成講座のご紹介
山口県産 サイクリングガイド導入事例ご紹介
多くの認定ガイドがサイクリスト誘致に向けたマーケティング戦略

手厚いガイドサポート
★ ガイド保険の導入
★ スキルアップ研修
★ 観光英語・旅行術法
★ ガイドネットワーク

マーケティング支援
★ ツアー募集サイト
★ ツアー募集サイト
★ ツアー募集サイト
★ ツアー募集サイト
★ ツアー募集サイト

Live Japan
日英韓中台に対応する多言語ガイドブック

(一社) 日本サイクルツーリズム推進協会
JCTA (Japan Cycle Tourism Association)
info@cyclotourismjp.org



2019/2/14

第2回 JCTA公開勉強会@四ツ谷
「海外のサイクリングツアー事例から日本型サイクリングツアーの形を考える」

代表理事西田恵子によって、これまでの経験に基づいた考察とJCTAの行っているサイクリングガイド養成講座についての説明がなされました。(下 資料抜粋)

3. 脚光を浴びる台湾一周サイクリングツアー

Tour de Taiwan - From Taipei (9 days & 8 nights)

8泊9日 全行程912km

参加条件 平均速度 時速20~25km

Our professional team will surely make your dream come true...
Bicycle the island may be a challenge, yet not as difficult as you imagine.
Grant provides you comprehensive equipment, resources, and services.
Accompany your completion of cycling tour in Taiwan.

Total Trip Distance: 912 KM Average Speed Per Hour: Approx. 20-25 KM/H

中級・上級 長距離・長期間 チャレンジ性 達成感 非日常の世界を走りきる楽しさ

参加者は多国籍
カナダ人6名、日本人2名、シンガポール 多数 + 台湾現地の方々
共通言語は英語

6. その他

JCTA認定ガイド・グループの活動紹介

歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会は地域の様々な団体との連携を図り、積極的にサイクルツーリズムを推進する他、JCTAと緊密に連携し、2018年にサイクルツーリズム勉強会、2019年にはJCTAサイクリングガイド養成講座を開催し、メンバーの多くがJCTA認定ガイド資格を取得されました。

同協議会はこのほど、JCTAご支援の下、台湾メディア、並びに台湾商工会議所のサイクリングクラブメンバーを招き、視察ツアーを実施しましたが、その内容が読売新聞道南版に紹介されました。

同協議会は、今後も自転車観光を軸とした取組みを推進し、サイクリスト誘致を通じた地域活性化に取り組んでいます。



2019年10月8日
読売新聞 道南

都道府県別認定ガイド数/インストラクター数

		ガイド	インストラクター
北海道	北海道	38	
東北	青森	19	1
	宮城	2	
関東	茨城	1	1
	群馬	0	1
	埼玉	1	1
	千葉	4	2
	東京	10	4
	神奈川	2	
甲信越	長野	2	
	愛知	2	
	静岡	1	
近畿	滋賀	1	
	京都	4	
	兵庫	1	
	大阪	1	1
	奈良	1	
中国	山口	7	
	広島	3	
		100	11

賛助会員企業さま

アサヒサイクル株式会社
井上ゴム工業株式会社
オージーケー技研株式会社
株式会社あさひ
株式会社クロップス
株式会社サイクルスポット
サイクルヨーロッパジャパン株式会社
シマノセールス株式会社
ダイアテック株式会社
東工コーセン株式会社
パナソニック サイクルテック株式会社
ミズタニ自転車株式会社
ヤマハ発動機株式会社
有限会社アキコーポレーション
(2019年10月末現在 50音順)

日本サイクルツーリズム推進協会 (JCTA)

理事： 西田恵理子(代表)
加藤京子
加藤久美
絹代
津末博澄
宮内忍 (50音順)

作成： JCTA事務局
作成日： 2019年12月17日
一般社団法人日本サイクルツーリズム推進協会
〒150-0044 東京都渋谷区円山町25-1 島田ビル201号室
[Tel:090-3535-4491](tel:090-3535-4491) / [Fax:03-3462-1507](tel:03-3462-1507)
E-mail: info@cycltourismjp.org

